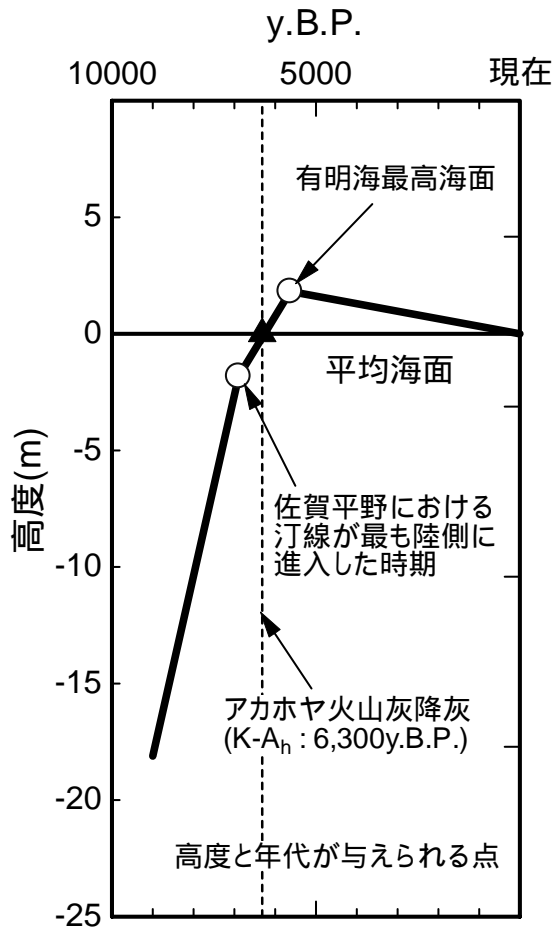


実験3 メスシリンダー中の粘土を観察しよう！ かき混ぜて濁らせてみよう！！

- ・静置したメスシリンダーの底にたまっている粘土を観察してみよう。
- ・その後メスシリンダーを振って粘土を濁らせてみよう。



佐賀低平地の形成史 ～ 縄文海進とその後の海退にともなう海岸線の変化～



縄文海進とは？

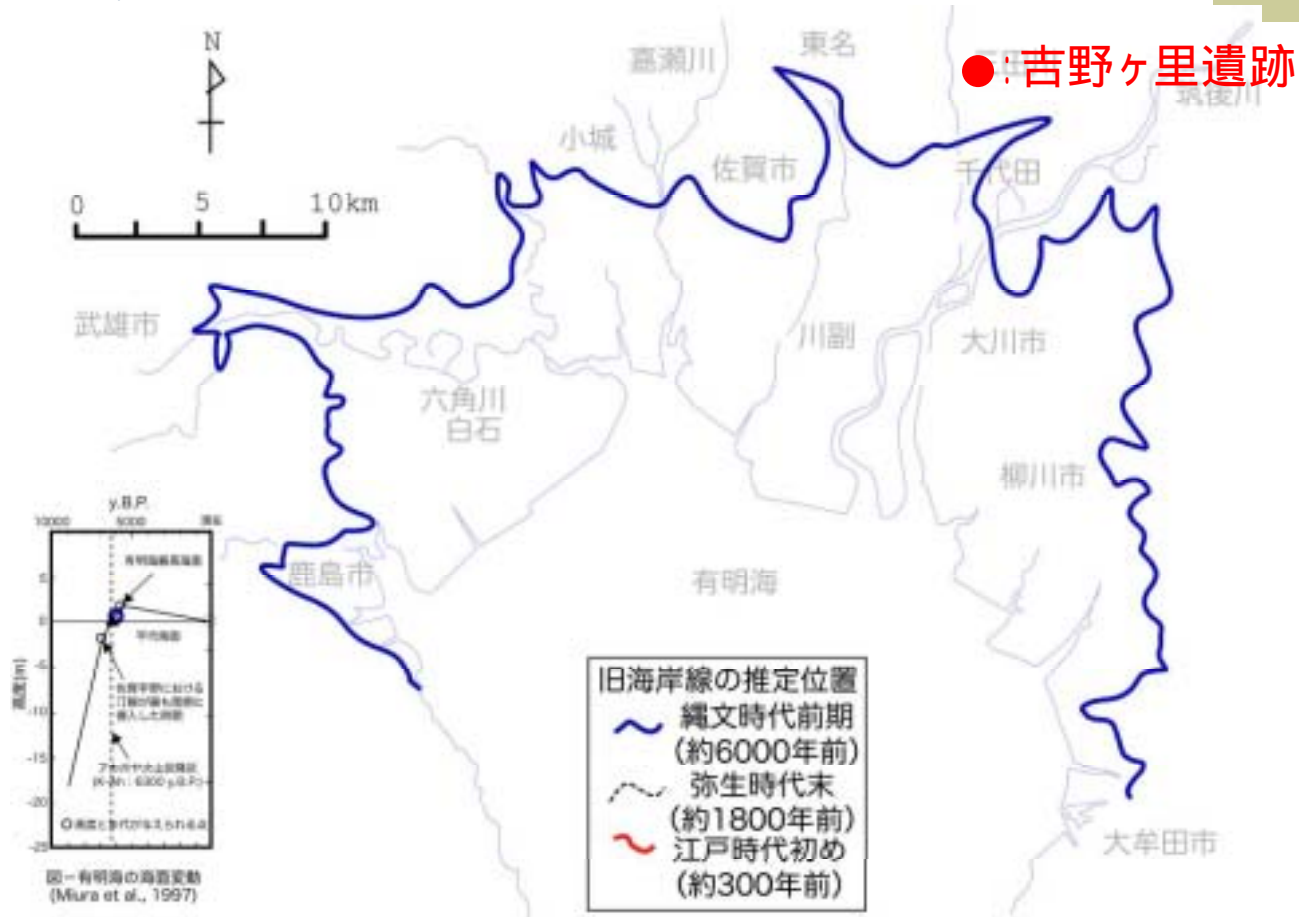
完新世の6,000～5,000年前に生じた海水面上昇のことをいいます。このときの海水面は現在よりも数m上昇しました。わが国では縄文時代前期にあたるため、この名があります。

完新世とは？

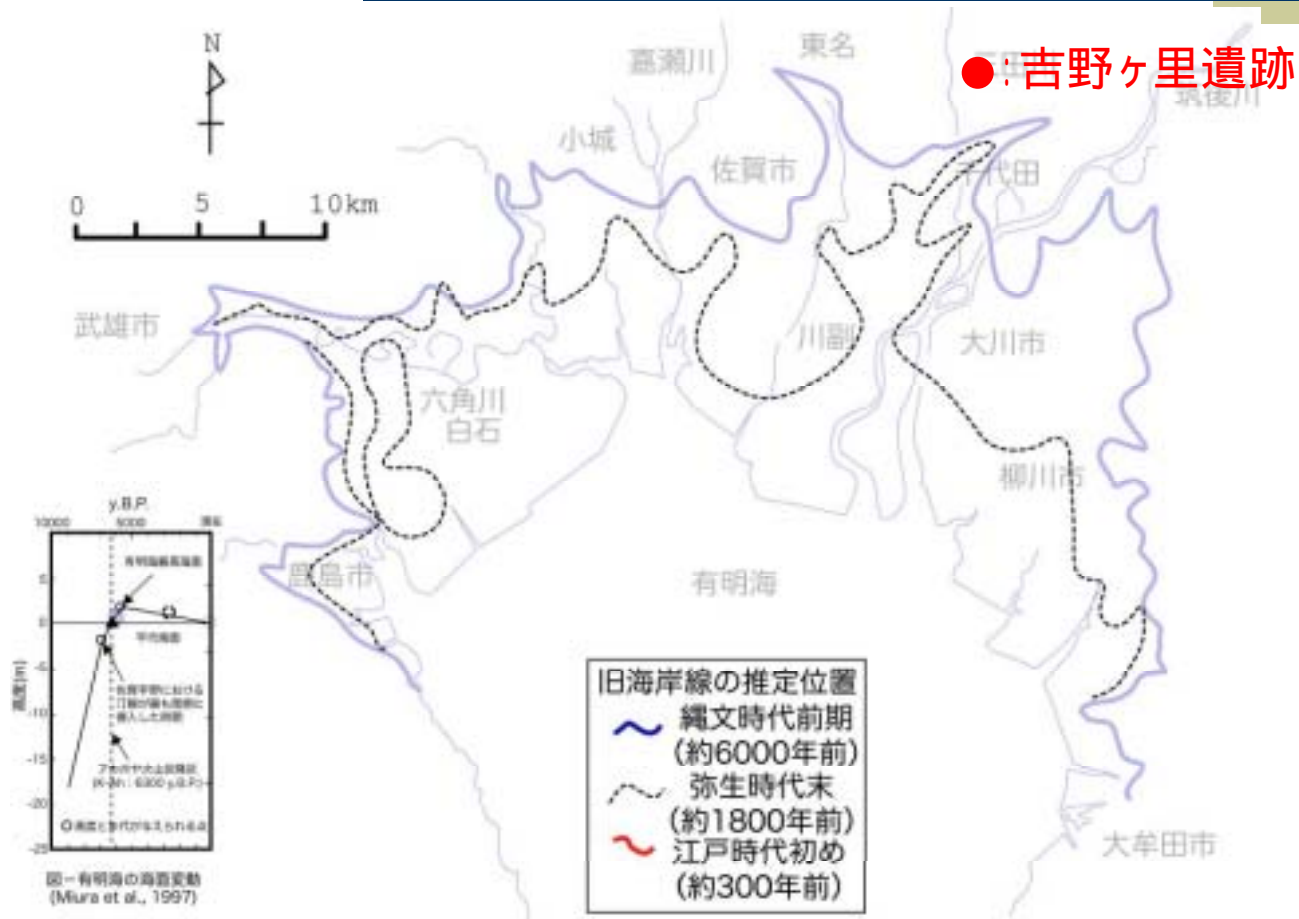
最終氷期の氷河が消失した約1万年前から現在に至る地質時代のことをいいます。

佐賀低平地の形成史 ～ 海岸線の変化 1 (約6,000年前の海岸線) ～

- ・縄文海進期には、平均すると1年間に2cm海面が上昇していました。
- ・仮に海岸付近の土地の平均勾配を1/1500とすると、毎年30mも海が陸側に入り込んでくる試算になります。



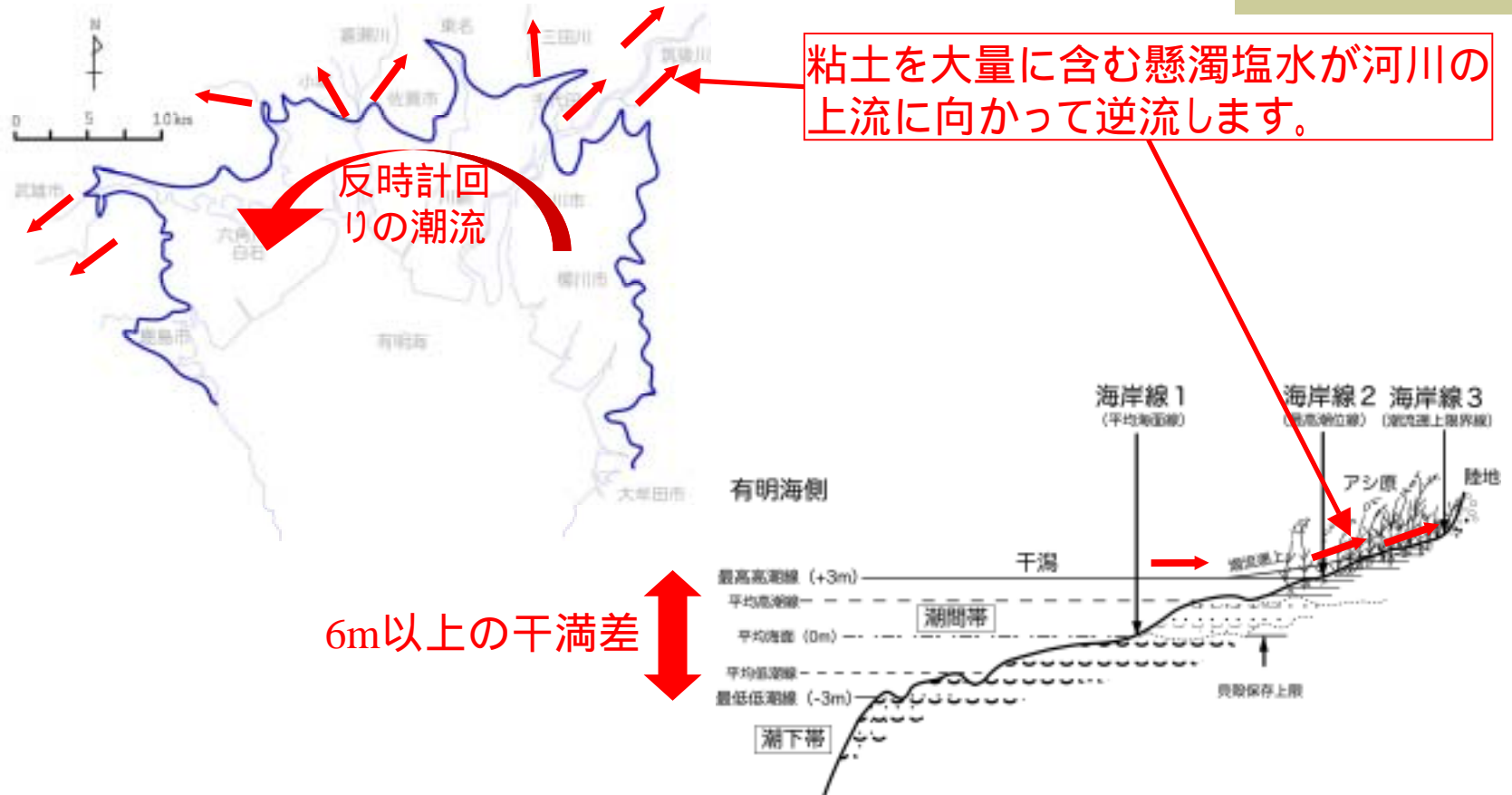
佐賀低平地の形成史 ~ 海岸線の変化 2 (約1,800年前の海岸線) ~



佐賀低平地の形成史

～ところで、粘土が川をさかのぼる！？～

・現在の有明海に見られる「湾奥部における反時計回りの潮流」、「6m以上の干満差」は、少なくとも8,000年前から生じていたことが明らかにされています。



参考資料:

- 1) 下山正一: 有明海の生きものたち～干潟・河口域の生物多様性～, 佐藤正典編, 海遊舎, p.47, 2000.
- 2) 下山正一: 文明のクロスロードMuseumKyushu, 第52号, pp.9-21, 1996.

佐賀低平地の形成史 ～有明海に注ぐ現在の主要感潮河川の状況～



六角川を約30kmも逆流遡上した
浮泥堆積物(武雄市大日)

筑紫平野の表層を占める沖積
粘土層(佐賀市瓦町)

ここでは、非海成粘土層(A:蓮
池層)の下に海成粘土層(B:有
明粘土層)が存在します。



佐賀低平地の形成史 ～ 海岸線の変化 2(改めて説明します)～

・佐賀低平地は、理科や社会の先生が嫌う形成史を持っているのです。

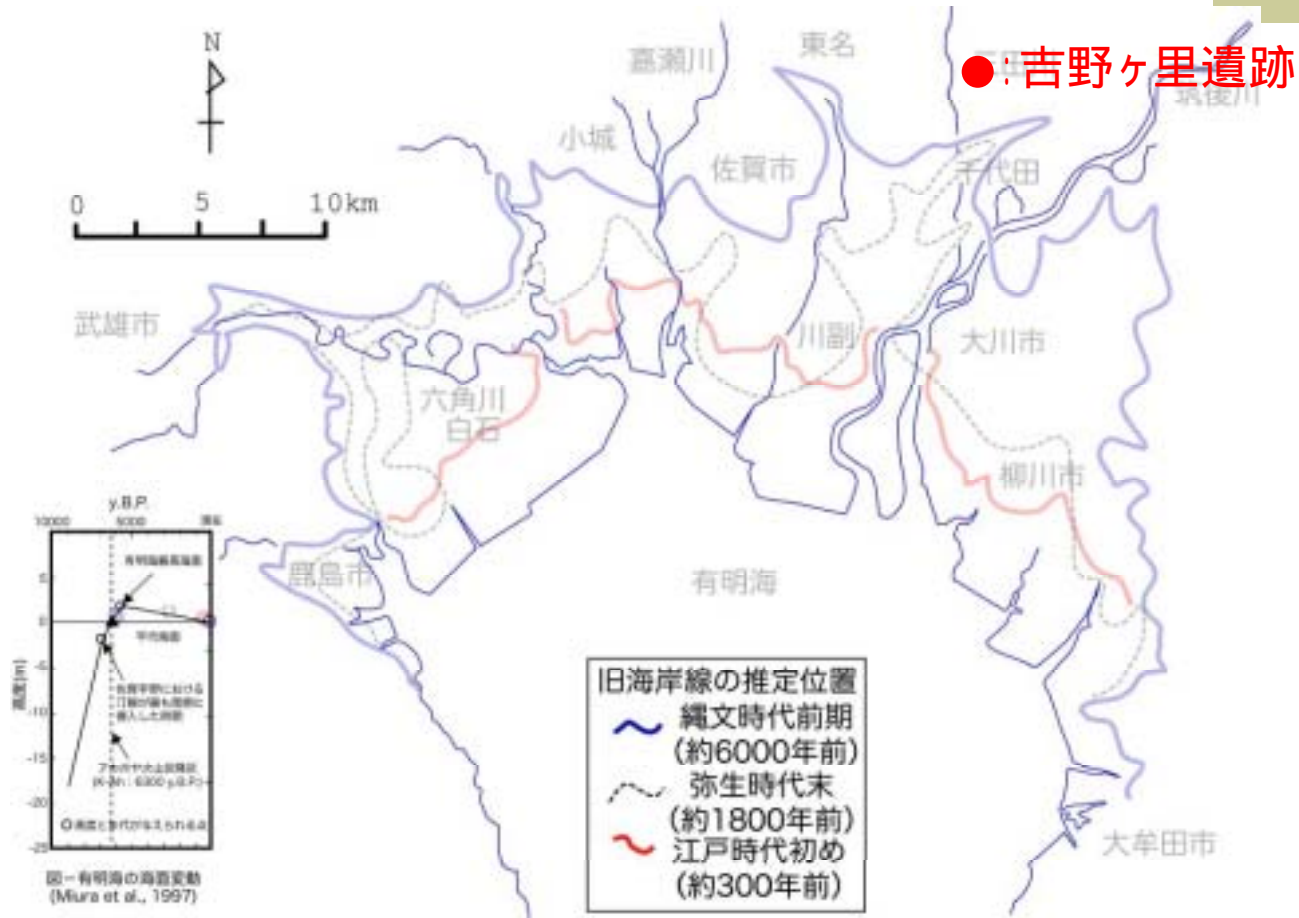


佐賀低平地の形成史 ~ 海岸線の変化 3 (約300年前の海岸線) ~



佐賀低平地の形成史 ～ 海岸線の変化 4 (現在の海岸線) ～

- ・佐賀低平地の面積は、そのほとんどが人の手によって広げられたものなのです。
- ・オランダでは北海油田開発の関係でもっと詳しい海岸線の変化が復元されています。



実験4 有明粘土を見てみよう！さわってみよう！！

- ・有明海の北側に広がる平野に堆積している粘土なので、「有明粘土」と呼ばれるようになりました。
- ・有明粘土はよく「豆腐」に例えられます。このような粘土は一体どのようにして堆積し、どの程度の厚さで地下に存在するのでしょうか？



地盤から採取した直後の有明粘土
自ら立てる強さを持っています。

乱した有明粘土
かき混ぜるとドロドロになって
しまっています。



佐賀低平地の形成史 ～ 佐賀市の中心を走る南北の地下断面～

・厚いところでは約30m程度の有明粘土の堆積が認められます。

